

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年9月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年9月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年9月30日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【台風15号および竜巻の発生により、被災地域の市町で甚大な被害が発生した。建設業では改善傾向も、最低賃金引上げや資材高騰、人手不足等の影響で業況は不安定である。】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-16.9（前月-18.5、前年同月-17.1）で、前月比1.6pt好転した。台風15号および竜巻の発生により被災地域の市町に甚大な被害が生じた。建設業では受注の安定により大幅な改善がみられる一方、最低賃金引き上げや資材価格高騰、人手不足の影響で受注減や廃業を余儀なくされる事業所もあり業況に差異が生じている。

【製造業】

業況は-21.0（前月-20.9、前年同月-12.7）と前月に比べ0.1pt悪化した。仕入価格や製造原価の上昇により価格転嫁が難しい状況が続く中、機械金属業では受注が減少傾向にあり、繊維工業では海外への発注が増加している。一方で食料品は資材が高騰するも売上は堅調である。

【建設業】

業況は-5.7（前月-17.1、前年同月-20.6）と前月に比べ11.4pt好転した。台風被害に伴う修繕工事やエアコン需要が継続するものの、資材価格高騰や職人不足、元請・下請間の負担格差が課題となっている。一方で、人手を確保できている専門職種では受注が安定している。

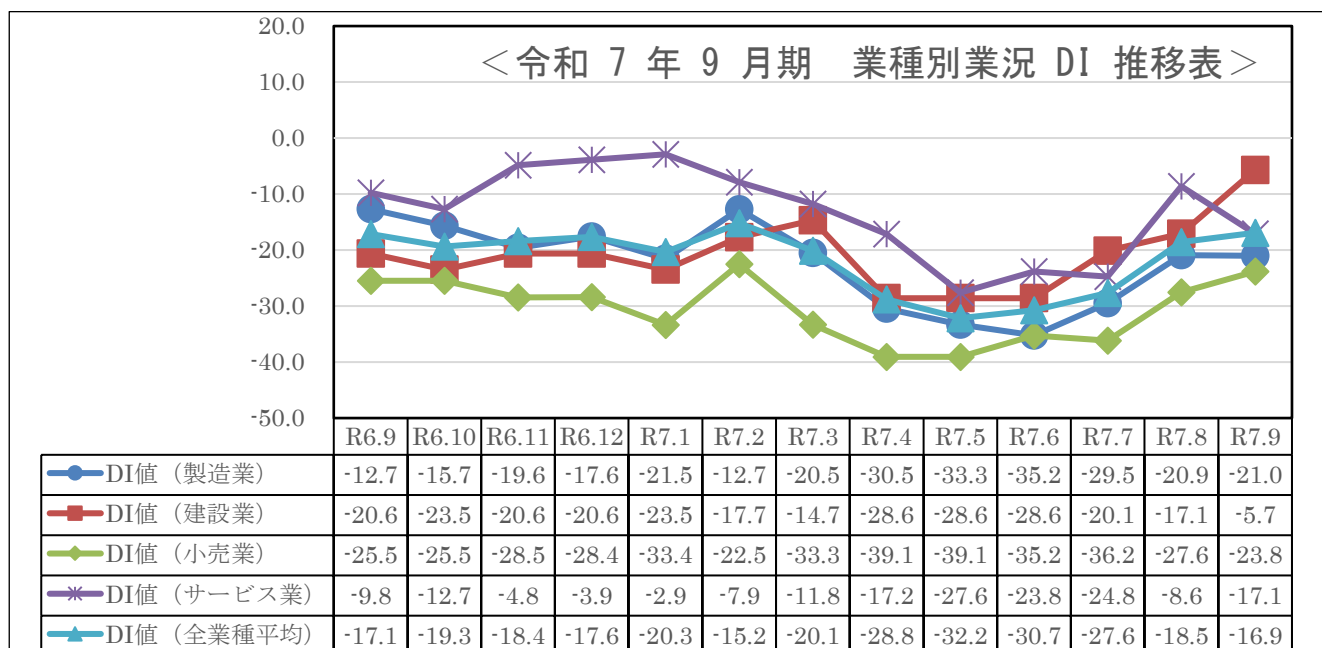
【小売業】

業況は-23.8（前月-27.6、前年同月-25.5）と前月に比べ3.8pt好転した。夏季用電化製品の需要は高く売上は堅調に推移している。一方で節約志向や最低賃金引上げによる資金確保の課題が顕在化しているほか、台風被害による店舗休業や季節商品の販売時期変動もみられた。

【サービス業】

業況は-17.1（前月-8.6、前年同月-9.8）と前月に比べ8.5pt悪化した。洗濯業では暑さの長期化で売上が大幅に減少、理美容業では格安店への顧客流出や廃業する事業所も見られた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・仕入価格や製造原価が上昇するも価格転嫁が難しく、厳しい経営環境が続いている。（伊豆）
- ・機械金属業は自動車部品に限らず、金属部品加工等の多様な分野で受注減少の傾向がみられ、そうした声を聴く機会が増えている。（富士駿東）
- ・繊維工業では海外への発注が増加傾向にあり、それに伴い受注が減少している。（中部）
- ・機械金属業の自動車関連ではメーカー間でばらつきがみられるが、全体としては業況が悪化傾向にある。（中東遠）
- ・食料品製造業は資材価格が高騰しているものの、売上は堅調に推移している。（西遠）

【建設業】

- ・建設資材の価格が高騰しており、事業者のコスト負担が増加している。（伊豆）
- ・橋脚葺や型枠工事等の専門性の高い職種で、人手を確保できている事業所では、受注も安定している傾向がみられる。（富士駿東）
- ・台風 15 号の被害に伴い、修繕工事の受注が発生している。（中部）
- ・見積、契約時と着工、完了時で建材価格の上昇幅が大きく、元請事業所の負担が増す一方、下請事業所の工賃は上昇しておらず、職人不足もみられる。（中東遠）
- ・電気工事では 9 月以降もエアコンの需要が継続しており好調であった。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

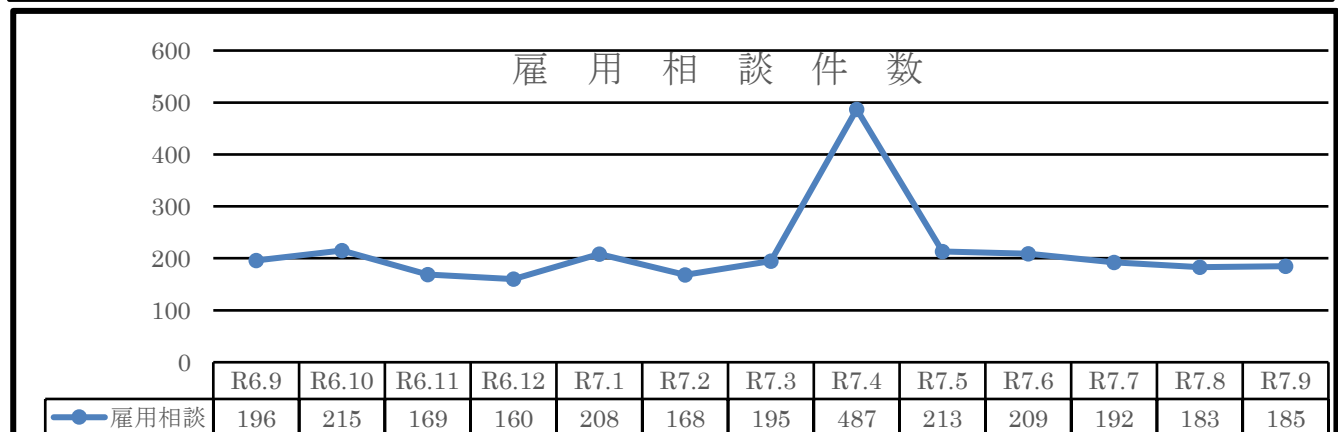
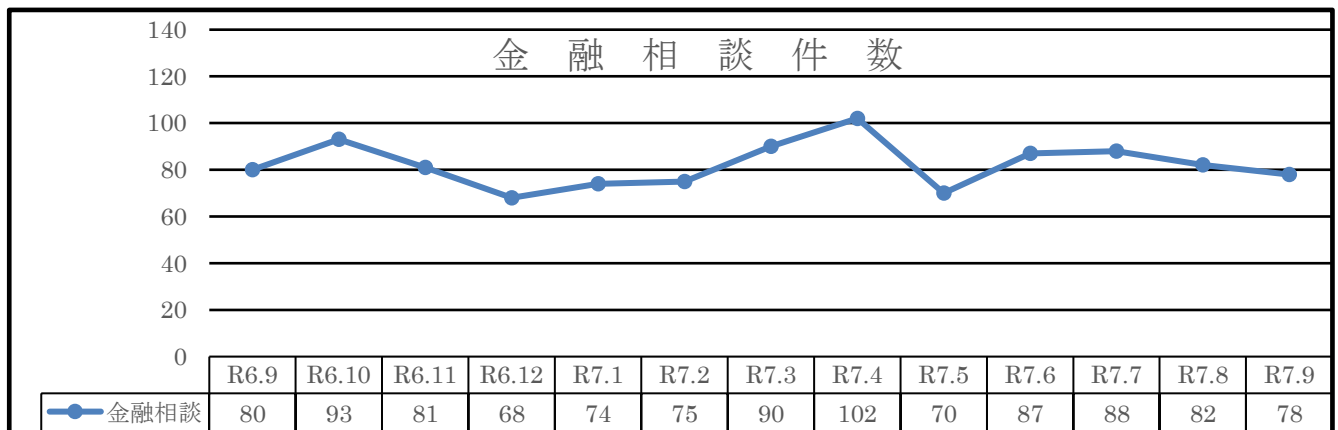
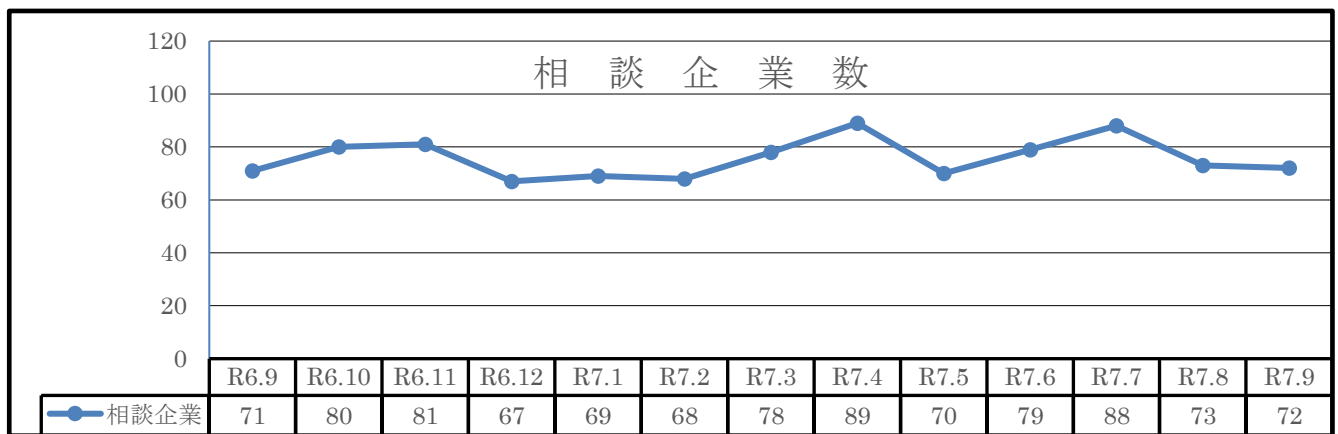
- ・食料品では地元消費者の節約志向がみられる一方、インバウンド客の来店が地域小売事業者の売上に微増ながら寄与している。（伊豆）
- ・物価高騰や最低賃金の引き上げに伴い、資金確保が課題となっている。（富士駿東）
- ・台風 15 号の影響により静岡市全域で警報や避難指示が発令され、大きな被害はなかったものの、一部事業所では店舗休業を余儀なくされた（中部）
- ・衣料品では季節感の希薄化により、需要の夏と冬の二極化傾向が強まっており、秋物の売行きは伸び悩んでいる。（中東遠）
- ・残暑の影響により、9 月としては夏季用電化製品（エアコン・扇風機）の需要が高く、売上は堅調に推移した。一方で、冬季商品の販売時期は先送りとなっている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では猛暑の影響で夏季の旅行を控えていた顧客が 9 月に入り動き出し、宿泊需要は一定水準で推移している。（伊豆）
- ・旅館業では富士山の閉山で登山客が減少したが、合宿等の需要は継続している。（富士駿東）
- ・洗濯業では売上が大幅に落込んでおり、例年にない暑さの長期化が一因とみられる。（中部）
- ・経費負担の増加があるが顧客にとって可視化されにくいため、価格転嫁が難しい。（中東遠）
- ・理美容業では顧客の格安店への流出が見られ、経営が厳しい事業者は廃業を余儀なくされる例もある。個人事業主にとっては先行きが不透明で厳しい状況が続いている。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年9月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	72	73	-1
【金融相談件数】	78	82	-4
新規融資（借換えを除く）	51	61	-10
既存債務の借換え	22	17	5
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	3	2
【雇用相談件数】	185	183	2



【金融相談】

金融相談件数は72件と前月(73件)に比べ1件減少した。年末資金需要への早期対応や、売上金の回収遅延、運転資金に関する相談があった。新たな借入れが困難な事業所も増加している。

＜経営指導員コメント＞

- ・年末の資金需要に対応するため、融資相談会の日程を例年より早期に実施する。(伊豆)
- ・金融相談は、全て設備資金に関する内容であった。(富士駿東)
- ・建設業では売上は好調であったものの、売上金の回収が滞り、資金繰りに支障をきたしているとの相談があった。(中部)
- ・猛暑による外出控えに伴い売上が減少し、運転資金に関する相談が数件あった。(中東遠)
- ・新たな借入れが困難な事業所が多く見受けられる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、185件と前月(183件)に比べ2件増加した。最低賃金の引上げによる固定費増加への懸念が強まっており、人手不足は依然として深刻な課題となっている。

＜経営指導員コメント＞

- ・毎年最低賃金が大幅に引き上げられる中、11/1からの最低賃金の改定に対して不安を感じている小規模事業者が多い。(伊豆)
- ・人手不足の声は依然として多く聞かれるが、人材の動きは少ない印象である。(富士駿東)
- ・最低賃金の改定により、固定費の増加に対して不安を感じている事業者が多い。(中部)
- ・雇用保険の資格取得・喪失や離職票発行手続き、特退共に関する相談があった。(中東遠)
- ・製造業では人手不足が深刻化し、外国人雇用の検討も進められている。一方で、業種によっては元請けからの受注が減少し、パート従業員の稼働に余裕がある状況である。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・9/27(土)～10/5(日)にバルイベント「がんバル」が開催され、消費拡大が期待される。また開催に合わせ、夜間の移動支援型交通の実証実験として共助版ライドシェア「河津ザクライド」が実施され、初日は週末が重なったこともあり多くの利用があった。(河津町)
- ・9/18(木)～24(水)に実施された首都圏学生による「田舎留学プロジェクト」に協力し、町内の小規模事業者等との交流や、地域の魅力発信に繋がる取組みとなった。(南伊豆町)
- ・9/21(日)に特産品であるところてんを活用した「第7回トコリンピック世界大会」が開催された。今回は流しところてんをどれだけ掴めるかを競う競技と、ところてん早食い競争の2種目が行われ、観光客と地域住民の交流にも繋がった。(南伊豆町)
- ・9/1(月)から「かなみプレミアム商品券2025」の販売を開始した。(函南町)
- ・9/27(土)～28(日)に富士スピードウェイで「6時間耐久レース」が開催され、商工会優良推奨品が出店しPRを行った。(小山町)
- ・9/28(日)に「個店塾」が開催され、消費者に商品・サービスを広くPRすることができた。また同日同会場で商品モニター会&販売会も行われた。(静岡市清水)
- ・9/5(金)の台風15号および竜巻発生で甚大な被害が発生、会員106事業所を含む地域132件(報告分のみ)が被災した。停電が発生直後から続いたが9/8に電柱・電線の復旧作業が概ね完了した。市から食事等を含む総合支援やブルーシート等の無料配布、建設工事業者による屋根補修支援等のほか、9/15には地元飲食店20店舗が復興支援のマルシェを実施し募金も行った。また地域住民向けに会員事業所で被害の少ない事業所が飲食物の無料配布を行い、SNS等からも情報共有し支援するケースもある。市内外からボランティアが集まり、青年部や女性部も経営者団体と協力し住民等へ2万本の飲料配布を行った。以前のように安心できる生活、事業活動へ戻るには時間を要する見込みである。(牧之原市)